



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名 株式会社エナテクス

<合同申請>

株式会社エナテクスサービス／株式会社エナテクスソーラー／株式会社エナテクスファーム／株式会社エナテクスミライ

所在地

鳥取県倉吉市清谷町二丁目 73 番地

代表者

代表取締役 福井 利明

業種

建設業（電気設備工事・電気通信設備工事）

事業概要

株式会社エナテクス（ICT（情報通信技術）関連事業、再生可能エネルギー事業、電気・通信設備工事業、エコソリューション事業）

<以下グループ会社>

株式会社エナテクスサービス（代表取締役 福井暖）

原木しいたけの栽培及び販売、各種事業の企画・立案・調査・設計

【従業員数】7名【直近売上高】3,038万円

株式会社エナテクスソーラー（代表取締役 福井暖 株式会社エナテクスサービスの100%子会社）

太陽光発電所の運営管理

【従業員数】5名【直近売上高】4,826万円

株式会社エナテクスファーム（代表取締役 牧野健治 株式会社エナテクスサービスの100%子会社）

営農型太陽光発電所の運営、常緑キリンソウの苗栽培及び販売

【従業員数】3名【直近売上高】4,711万円

株式会社エナテクスミライ（代表取締役 福井利明 株式会社エナテクスサービスの100%子会社）

営農型太陽光発電所の運営、ドクダミ・原木しいたけの栽培及び販売）

【従業員数】3名【直近売上高】0円

<2030年に目指す姿>

当社は1989年の創業以来、電気というエネルギーで快適な暮らしのための技術を提供しています。

「環境とひとの和」をテーマに、風力発電や太陽光発電など自然エネルギー技術を研究し、積極的に環境問題に取り組んでいます。

お客様、取引先、従業員、そして地域社会をステークホルダーとし、私たちの企業活動を通じて自然と人が調和する社会を未来につないでいけるよう、太陽光発電、風力発電、木質バイオマス等の再生可能エネルギー事業を進展させるとともに、新規事業であるエコソリューション事業

(※3)を積極的に行い、建物の省エネルギー化を推進し、温室効果ガス排出の削減を目指します。そして、2023年までに、全拠点の使用電力を100%再生可能エネルギーに転換します。

また、従業員が仕事にやりがいを持ち、いきいきと働ける企業であるよう、従業員と家族の心と身体の健康を大事にし、多様性を認め合い、能力を最大限に生かせる職場づくりを目標に掲げています。

<目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

経済9：雇用の維持・拡大

環境6：再生可能エネルギーの導入

環境9：環境配慮型商品・サービスの提供

環境10：環境面での社会貢献

環境プラスワン：環境に配慮した行動形成

<重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

・「太陽光発電事業」

正の影響（雇用創出、地域経済の循環、環境教育を行うことにより、環境保全に努め、持続的発展が可能な社会を構築する和を広げる、遊休地・荒廃地の解消（地方創生））

負の影響（事業終了後の廃棄物の発生（リサイクルも含め、環境負荷が少ない廃棄を研究し、実行する）、地域住民への配慮（太陽光発電所設置の際は、必要に応じて自治会等へ説明会を開催している）、災害発生の危険性）

・「エコソリューション事業（※3）」

正の影響（使用するエネルギー消費量の削減、エネルギーを創出することで、温室効果ガスの排出量削減及び非常時のエネルギー確保・地域のレジリエンス化、地域の脱炭素化）

・「再エネ100宣言 RE Action」

正の影響（温室効果ガスの排出量削減、企業イメージ向上）

負の影響（経済的な合理性はない）

・「エコポイント制度」

正の影響（環境に対する意識醸成、企業イメージ向上、社内のコミュニケーションの活性化）

負の影響（業務負担の増加）

社会(1/2) : 株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働災害の防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全衛生推進者の設置 労働災害につながる環境や行動を見直すため月例で行う全従業員が出席するミーティング（以下、全社ミーティング）で月1回従業員教育を実施 労働安全衛生管理計画書を年度毎で作成し、目標設定、実施スケジュールに沿って労働災害の防止につながるよう体系的に進める 工事担当部署で労働安全のヒヤリハットを月1回のミーティングで情報共有 車両運転のヒヤリハット報告を月毎に取りまとめ、全社ミーティングで情報を共有 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働災害防止のための基本事項遵守（令和5年度） <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の確認シートを作成し、年2回確認を行う
ハラスメントの防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハラスメントを許さない経営トップのメッセージ パワハラ、セクハラ等防止に係る就業規則の整備、内容の共有 ハラスメントを受けた従業員のための相談体制の整備 ハラスメントの未然防止のための従業員教育による理解の徹底 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハラスメントが発生しない職場づくり（令和4年度以降毎年継続） <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年1回全社ミーティングでの従業員教育を実施 相談窓口を設置するだけでなく、日頃から相談しやすい雰囲気づくりを行う
女性の活躍	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 17.1%（令和4年4月時点）</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 14.2%（令和4年4月時点）</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性の管理職教育・キャリアアップに向けた社外研修への参加 鳥取県男女共同参画推進企業認定（平成19年3月） 鳥取県輝く女性パワーアップ企業認定（平成28年3月） 短時間勤務制度や、在宅勤務制度の利用により離職防止 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 20%（令和7年4月時点）</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 18%（令和7年4月時点）</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術職の女性従業員採用に向け、環境整備を行う
障がい者が働きやすい職場づくり	<p><KPI></p> <p>障がい者雇用者数 1人（令和4年4月時点）</p> <p>（※雇用率 2.9% 令和4年4月時点）</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校出身者を採用、太陽光発電所の維持管理及び原木しいたけ栽培を行う 多様性を認め合い働くことができるよう、全社ミーティングで年1回研修を行い企業内支援者養成などによる受入体制づくりをする 「障がいを知り、共に生きる あいサポート企業」認定（平成27年1月） 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>障がい者雇用者数 2人（令和7年4月時点）</p> <p>（※雇用率 4% 令和7年4月時点）</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業継続できるよう、社内の支援者養成を行う 雇用者増加に向け、管理農地の増加及び原木しいたけの販売拡大する
多様な人材の活躍	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育推進協力企業認定（平成20年8月） 若者応援宣言企業認定（平成27年8月） 業務改善などだれでもなんでも提案できる「なんでも提案制度」を導入 従業員でチームを編成し、PDCAサイクルを回し業務改善を行うTQM活動の実施 Iターン・Uターン者の採用（8名在籍） 高齢者雇用の採用（65歳以上4名在籍） 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>個性を認め合い、それぞれの長所を生かす職場づくりを継続して行う（令和4年度以降毎年実施）</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全社ミーティングでコミュニケーションに関する研修を行う
多様な働き方の促進	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス宣言」実施（平成28年1月） テレワーク制度導入（平成31年9月） 働き方スローガン「わくわく出社 うきうき退社 エナテクス」と掲げ、出社することが楽しみで、家に帰るのも楽しみな働き方を従業員みんな目指す 月1回うきうき退社（ノー残業）デーの実施 有給休暇を取得しやすい体制づくり 健康経営の推進 短時間勤務制度や、在宅勤務制度の利用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>従業員ひとりひとりにあった働き方への対応（令和5年度）</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> うきうき退社（ノー残業）デーを部署ごとの実施とすることで、実施回数増加を図る 社員と個別面談を年2回実施。働き方への要望を情報収集する

社会(2/2) : 株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働者への 人権配慮	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内人権推進担当者の設置 ・全社ミーティングで年2~3回の社内研修を実施 ・業務改善などだれでもなんでも提案できる「なんでも提案制度」を導入し、意見を言いやすい環境を醸成 ・全社ミーティングで、月1回外部講師によるマナー研修を行い、良好な人間関係形成を推進 ・採用面接官は質問禁止事項を事前講習し、人権を損なう可能性のある質問を排除している ・行動指針を示したENATEXクレドを策定 ・新型コロナウイルス感染症による差別・偏見を防止する「シトラスリボンプロジェクト」に賛同 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の取組を継続するとともに、尊重し合える環境を築き、働きやすい職場づくりを行う(令和5年度) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ENATEXクレドの共に働く社員を尊重する部分において社員浸透を図る
社会配慮型 商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動無線とコミュニティ放送を組み合わせた新しい防災行政無線システムを自治体へ提案導入 ・上下水道施設用監視通報装置を各自治体へ提案導入 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>上下水道施設用監視通報装置導入目標</p> <p>【令和4年度】 処理場5カ所、マンホールポンプ場30カ所</p> <p>【令和5年度】 処理場5カ所、マンホールポンプ場30カ所</p> <p>【令和6年度】 処理場5カ所、マンホールポンプ場30カ所</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体への提案営業 ・保守管理
地産地消	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農型太陽光発電所で行う緑化に適したローメンテナンスの常緑キリンソウは(株)フジタ(岩美町)の登録種苗 年間35万本の苗を出荷 ・原木しいたけは、(一社)日本きのこセンター(鳥取市)が開発した「菌興115号」を生産現在5,300本のほだ木から年間600kg収穫 売上117万円 ・ソーラーシェアリング事業は、地域の耕作放棄地や農家の後継者不足などの課題解決を目的に事業を行う ・木質バイオマスボイラー導入工事により、地域の間伐材や廃材を活用したエネルギー利用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①常緑キリンソウ年間35万本出荷継続(令和4年度以降毎年達成) ②原木しいたけサンシェードプリンス®販売目標 <ul style="list-style-type: none"> 【令和4年度】 ほだ木6,700本 150万円 【令和5年度】 ほだ木7,200本 160万円 【令和6年度】 ほだ木7,700本 170万円 ③地域新電力の事業化(令和5年度) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①苗の栽培体制確保 ②原木しいたけの販売強化を行い、売上を拡大する <ul style="list-style-type: none"> ・管理農場の増加 ③地域新電力事業を行うことで、再生可能エネルギーの地産地消を推進
地域社会への 貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生・大学生への環境教育の実施 ・職場体験学習、インターンシップの受入れ ・道路・海岸などの清掃活動を始めたボランティア活動への参加 ・太陽光発電所に雇用や環境教育のために見学施設を兼ねた事務所を設置 ・原木しいたけの規格外品は地域のこども食堂へ無償提供 ・人権文化センターの児童の学習支援に従業員を派遣 ・倉吉「アザレア音楽祭」スポンサー ・倉吉市・北栄町に再生可能エネルギー関係図書の寄贈 ・倉吉市・北栄町・境港市にSDGs関連図書の寄贈 ・境港市おさかなロードへオブジェを寄贈 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育を年2回実施(令和4年度以降毎年実施) ・道路・海岸などの清掃活動を始めたボランティア活動への年1回の参加(令和4年度以降毎年実施) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生・大学生への環境教育の実施 ・職場体験学習、インターンシップの受入れ ・道路・海岸などの清掃活動を始めたボランティア活動への参加 ・とっとり建設☆女星ネットワークの活動へ従業員派遣
プラスワン 【国際社会への 貢献】	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農型太陽光発電所で栽培する常緑キリンソウは砂漠緑化にも応用が期待され、鳥取大学農学部と連携してアフリカ・ボツワナでの栽培試験やJICA研修員の受け入れを行っている 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA研修の実施(令和4年度以降毎年実施) ・青年海外協力隊などによる技術者派遣(令和10年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受入準備 ・技術者の養成

経済(1/2) : 株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
事業継続計画(BCP)の策定	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉オフィスのBCP策定（令和3年1月） ・北栄オフィスのBCP策定（令和3年12月） ・感染症対応マニュアルの策定（令和3年12月） 	【今後の目標・達成時期】 境港オフィスのBCP策定予定（令和4年8月） ※上記完成を持ってBCPの策定は完了 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの定期的な見直し ・BCPに沿った訓練実施・有用性検証
セキュリティ対策	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫を含めた社屋へ機械警備システムを導入 ・各パソコンへの定期的なアップデートの仕組みなどによるサイバーセキュリティ対策 ・ウイルス対策ソフト導入 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・社内ネットワークへのサイバーセキュリティシステムの導入(令和4年) ・webサイトリニューアルにより、閲覧者のセキュリティを強化したサイト作成（令和4年10月） 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・各社システムの比較検討
法令順守の取組の徹底	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・担当部署ミーティングでの確認 ・全社ミーティングで交通安全、環境管理、労働安全の研修を行い、法令遵守を徹底する。 ・社内規程を従業員全員が利用できるグループウェア上に表示 ・鳥取県版環境管理システム（TEAS）Ⅱ種に認定 環境法規制等順守チェックリストに伴い、年1回確認及び報告 ・ISO9001 認証取得（エコソリューション事業部）（令和4年1月） 	(今後の目標・達成時期) <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則など社内文書規程の定期的な見直し及び内容周知の継続（令和4年度以降毎年実施） ・ISO9001の他部署への展開 倉吉オフィス（令和5年度） 北栄オフィス他（令和6年度） 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ISOに関する社内研修の実施
情報公開	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・自社サイト、SNS、ブログを活用した事業活動内容の公開 ・リクルートサイト・企業情報誌への情報掲載 ・厚生労働省ポータルサイトへ働き方の事例掲載 ・再エネ100宣言RE Actionへ再エネ率の情報掲載 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・webサイト全面リニューアルにより、最新の情報を掲載したサイトを作成（令和4年10月） ・自社サイト、SNS、ブログの更新（随時） 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットに合わせた発信手段と細やかな更新
後継者の確保	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいるため、後継者の事故や病気など経営者有事の際の対応策について記載する ・健康診断の実施、再検査項目の受診 ・事業承継のため、外部研修で経営学を学ぶ 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・周年イベントの開催（令和6年度） ・社章の作成（令和5年度） 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年に迎える35周年に向けて、記念事業を行い経営交代の浸透を図る（予定）

経済(2/2) : 株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
コロナなどの市場変化を見据えた対応	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインミーティングでの営業 ・介護老人施設向けの電子錠の販売 <p>遠隔操作で窓を一定間隔で開けることができ部屋の換気をしながら、落下・無断外出対策もできる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木しいたけのオンライン販売 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社サイトのリニューアルを行い、オンライン営業をより強化していく(令和4年) ・原木しいたけのオンライン販売の強化(随時) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社サイトのリニューアル(令和4年)
自社以外の経営資源活用	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務・労務の外部コンサルティング相談サービスの利用 ・とりぎんSDGs私募債「ふるさと未来応援債」、倉吉信用金庫「新型コロナウイルスに関する特別融資」の活用 ・国・県・市・町・商工会等の支援事業・助成金の活用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務のアウトソーシングの活用(令和4年以降毎年実施) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県知的所有権センターとの連携 ・会計事務所との連携
デジタル化による生産性向上	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンは1人1台貸与 ・外勤社員にはスマートフォンを貸与 ・全従業員が利用できるグループウェア導入(タイムカード管理、インフォメーション・共有文書・スケジュールの共有、決裁文書など) ・工事における予算・施工の管理をデジタル化によるデータ管理で行う ・図面のCAD化、工事写真管理ソフトの導入 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積・請求の一元管理システムの導入(令和6年) ・名刺のデジタル管理(令和5年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺管理ソフトの導入 ・CAD研修の実施
雇用の維持・拡大	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回個人面談を実施し、離職者防止につなげる ・リクルートサイトの利用 ・設備投資や新事業展開による雇用拡大 ・新入社員に先輩社員がメンターとして就任し、仕事やプライベートの相談にのる(メンター制度) ・令和3年度採用 新卒2名 中途5名 ・令和4年度採用 新卒3名 中途1名5月採用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度の改革(令和4年より制度変更) ・ユニフォームの刷新(令和6年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価基準の作成 ・ユニフォーム刷新に向けた検討会議を行う
人材育成・能力開発	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長分野への事業展開に向けた従業員の能力開発 ・外部研修への積極的な参加 ・近年は、オンライン研修が一般的となり、研修機会も増加傾向である ・業務に必要とされる各種の資格取得に要する費用を助成する資格取得助成制度実施 ・外部講師を招いてSDGs社内研修会を行う。講師：一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 理事・新田英理子事務局長 <p>テーマ：「SDGsと企業の取組と私たちの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回マナー研修を実施 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に人材育成を行うためのスキルマップ作成(令和6年) ・能力開発計画の策定(令和6年) ・業務内容のマニュアル化によるOJTの質の向上、トレーナーの教育(令和5年) ・資格手当の見直し(令和6年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJT研修の構築 ・業務のマニュアル作成

環境(1/3) : 株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策		
自然環境の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <p>①近年増加傾向にある異常気象（大雨）・地震等による災害発生によるライフラインを確保するサービスの提案機会が増える</p> <p>②異常気象等により、営業停止に陥る</p> <p>【分析に基づく主な取組】</p> <p>①ライフライン確保の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電や蓄電池の設置（オフグリッド）推進により災害時の非常用電力を確保できる ITを使った河川水位観測等の監視設備は災害の未然防止に役立つ マンホールポンプ用非常電源装置の開発及びデモ機作成 <p>②営業停止への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡体制の整備 非常時でも電源・通信手段を確保できることを検討する 非常時にテレワークで業務を行う人員の増加 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>①・スマートタウン構想を自治体と検証していく（令和5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> BEMS（エネルギー管理システム）の開発・提供（※4）（令和4年度以降毎年実施） 脱炭素社会構築に向け、再生可能エネルギー事業及び、エコチューニング（※1）・ZEB（ゼブ）（※2）などのエコソリューション事業（※3）を推進する（令和4年度以降毎年実施） オフグリッド化システムの構築・販売（令和6年） <p>上下水道施設用監視通報装置を3自治体へ新規導入提案（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> マンホールポンプ用非常電源装置の提案（令和4年） <p>②・サーバーシステムの検討（令和5年）</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①-1より安価なBEMS（エネルギー管理システム）の開発・デモ機設置</p> <ul style="list-style-type: none"> -1・地域新電力会社との協議 -1・補助金の確保 -2・メーカーとの協議（秘密保持契約の締結） -3・自治体への定期訪問、地域の実態調査、提案資料の作成 <p>②他社比較、社内検討会の実施</p>
社会・制度の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <p>①固定価格買取制度・事業環境等の変更による事業の採算性の低下</p> <p>②改正温暖化対策防止法により上場企業が温室効果ガスの排出量の公開をしなければならなくなったため、ビジネスチャンスとして取り込める</p> <p>③新型コロナウイルス感染症への感染リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスター発生による信頼の低下（失墜、業務停止による売上低下） <p>④脱炭素事業の同業他社の動向</p> <p>国・自治体レベルでの取り組みが先行しているが、近隣に当該事業に取り組んでいる企業が増えているため、先行者利得が減少する</p> <p>【分析に基づく主な取組】</p> <p>①固定価格買取制度の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報収集を徹底し、対応を検討する 自家消費型太陽光モデルをお客様の要望に合わせた提案を行う <p>②改正温暖化防止法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家消費型太陽光モデルの提案 <p>③・毎日本体温、消毒、マスクのチェック、朝礼での注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの策定 Web ミーティングの積極的活用 電子入札の利用 テレワークの積極的利用 ワクチン接種の特別休日対応 <p>④脱炭素事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会構築には当社の事業の柱である太陽光発電、住宅用蓄電池、省エネ等の技術が貢献していく 同業他社の動向も考察しつつ、独自のシステムを開発し、山陰を基盤にシェア数を増やしていく 自治体との連携を深め、地域の省エネ会社 No. 1 を目指す 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>①②・自家消費型太陽光モデルの導入（オンサイト PPA、オフサイト PPA、自己託送）</p> <p>【令和4年度】</p> <p>10件（1件あたり平均100kW）合計1000kW</p> <p>【令和5年度】</p> <p>10件（1件あたり平均100kW）合計1000kW</p> <p>【令和6年度】</p> <p>10件（1件あたり平均100kW）合計1000kW</p> <p>①②④・地域新電力の事業化（令和4年秋）</p> <p>③・社内感染者ゼロ（令和4年以降毎年達成）</p> <p>④・地域プラットフォームへの参加（令和5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体保有施設へのBEMS（※4）設置提案（令和5年） <p>・BEMS 設置目標</p> <p>【令和4年度】 5件</p> <p>【令和5年度】 10件</p> <p>【令和6年度】 20件</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>①②④・荒廃地を太陽光発電用地に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力需給管理技術・ノウハウの習得 需要家獲得・営業ノウハウの習得 営業対象エリアの拡大 <p>③・感染症対策の取組の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業停止した場合の社内シミュレーションの実施 <p>④・BEMS 設計のパターン化による業務効率化</p>

<p>自社の事業活動が引き起こす影響</p>	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー、エコソリューション事業（※3）の拡大によって、地域の脱炭素化の推進に貢献できる 原材料の環境負荷 太陽光発電施設の廃棄 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの普及 建物の省エネ化 環境に配慮された商品（原材料）の選択 太陽光発電パネルの廃棄の及びリサイクル・リユースの情報収集 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の省エネ化事業の推進 エコチューニング導入事業者数目標 【令和4年度】 14件 【令和5年度】 16件 【令和6年度】 16件 <p>ZEB化目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 【令和4年度】 5件 【令和5年度】 5件 【令和6年度】 5件 <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電パネルの廃棄開始（令和14年） <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質目標計画（KPIとして、省エネ診断月2件）を策定（令和4年） 資格保有者の育成（2級ボイラー技士2名、エネルギー診断プロフェッショナル3名受験中） 太陽光発電パネルの廃棄の適切な業者選定及びリユースの推進
-------------------------------	---	--

環境(2/3)：株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
カーボンニュートラル		
<p><省エネ> 燃料消費量の削減</p>	<p><KPI> 売上高あたりCO2排出量 0.084t-CO2/百万円(令和3年)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> エコドライブの実施 全社ミーティングで、燃費の情報共有 北栄オフィスのZEB(※2)化により灯油ストーブの使用を廃止 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> 【令和4年】0.083t-CO2/百万円 (0.5t-CO2削減) 【令和5年度】0.083t-CO2/百万円 (0.5t-CO2削減) 【令和6年度】0.082t-CO2/百万円 (0.5t-CO2削減) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> エコドライブを推進する 県外出張は原則として公共交通機関を利用(令和4年) 倉吉オフィスへV2Hを設置(令和5年) 電気自動車の導入(令和5年)
<p><省エネ> 電力消費量の削減</p>	<p><KPI> 売上高あたりCO2排出量 0.018 t-CO2/百万円(令和3年)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北栄オフィスをZEB(※2)化 光熱費削減効果も考え、月1回うきうき退社(ノーマル残業)デーを行い、日ごろから時間を意識した働き方を推進する 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> 【令和4年】0.015t-CO2/百万円 (1.9 t-CO2削減) 【令和5年度】0.013t-CO2/百万円 (0.9 t-CO2削減) 【令和6年度】0.013 t-CO2/百万円 (0 t-CO2削減) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北栄オフィスの屋根へ太陽光発電及び蓄電池システムを追加設置(令和4年) 倉吉オフィスの屋根へ太陽光発電及び蓄電池システムを設置予定(令和5年)
<p><創エネ> 再生可能エネルギーの導入</p>	<p><KPI> 再エネ電力割合 15.5%(令和2年度) ※全使用電力に対する割合 ■導入している再生可能エネルギー 太陽光発電</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所の屋根に太陽光パネルを設置し、自家発電電力を活用 再エネ100宣言 RE Actionに参加し、全拠点の使用エネルギーを再エネ100%にする目標を設定 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> 【令和3年度】 54 % 【令和4年度】 93 % 【令和5年度】 100 % <p>※全使用電力に対する割合</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北栄オフィスの屋根へ太陽光発電及び蓄電池システムを設置予定(令和4年) 倉吉オフィスの屋根へ太陽光発電及び蓄電池システムを設置予定(令和5年)

環境(3/3) : 株式会社エナテクス

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
廃棄物の削減	<p><KPI> 売上高あたり廃棄量 0.05t/百万円 (令和3年)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所における廃棄物の分別、削減計画立案、社内ルール整備等の推進 ・鳥取県版環境管理システム (TEAS) II 種に認定 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> 【令和4年度】 0.05t/百万円 (3 t 削減) 【令和5年度】 0.04t/百万円 (3 t 削減) 【令和6年度】 0.04t/百万円 (3 t 削減)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別の徹底
水資源の適正な管理	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社が使う水資源の量を把握 ・節水型便器の導入 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水啓発ポスター設置 (令和4年) (流水レバーの使い分け等) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入に向けた調査・計業活動 ・従業員の節水意識の向上 (全社ミーティングで、会社や家庭でできる節水方法を紹介)
環境配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備 ・家庭用蓄電池の販売 ・建物を運用改善により省エネするエコチューニング事業 ・省エネ・創エネによる一次エネルギー消費量を正味ゼロにする建物の ZEB 化 ・エコチューニング事業者認定 ・エコチューニング技術者資格取得 (1 級 1 名、2 級 2 名) ・グループ企業が所有する太陽光発電所の年間発電量 3,820,466kWh (令和3年度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ZEB プランナー事業者認定 (令和5年) ・建物の省エネ化事業の推進 <p>エコチューニング導入事業者数目標</p> <p>【令和4年度】 14 件 【令和5年度】 16 件 【令和6年度】 16 件</p> <p>ZEB 化目標</p> <p>【令和4年度】 5 件 【令和5年度】 5 件 【令和6年度】 5 件</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質目標計画 (KPI として、省エネ診断月 2 件) を策定 ・資格保有者の育成 (2 級ボイラー技士 2 名、エネルギー診断プロフェッショナル 3 名受験中) <p>自家消費型太陽光モデルの導入 (オンサイト PPA、オフサイト PPA、自己託送)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小形風力発電システムの開発・提供 ・V2H 機器の設置提案 (令和5年)
環境面での社会貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社グループ会社が運営する太陽光発電所での発電 ・木質バイオマスボイラー導入工事施工 ・脱炭素事業の実施・会社として、清掃活動に参加 ・高校生・大学生への環境教育の実施 ・道路・海岸などの清掃活動を始めたボランティア活動への参加 ・倉吉市・北栄町・境港市に SDG s 関連図書の寄贈 (令和3年) ・倉吉市・北栄町に再生可能エネルギー関係図書の寄贈 (H26 年) ・SDG s 市民社会ネットワークに加入し、情報収集と自社の取組み発表など実施 ・とっとり県民活動活性化センター主催セミナーや鳥取環境大学、他団体で自社の取組み発表 ・関金小学校へ SDG s 出前授業 (令和3年9月) ・公立鳥取環境大学経営学部「環境経営論」社会と企業の共栄共存について取組発表 (SDG s ジャパン会員ネットワーキング DAY において取組発表 (令和3年12月)) ・中国四国地球温暖化防止活動推進センター職員研修で取組発表 (令和4年1月) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に周辺地域へ電力供給できるシステムの形成 (令和5年) ・自社グループ会社が運営する太陽光発電所で発電した電力を地域新電力会社へ提供 (令和4年) ・取組事例の発表を年間 2 件行う (令和4年度) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電所の新設 ・環境教育の継続実施 ・清掃活動の継続実施

<p>プラスワン 【環境に配慮 した行動形 成】</p>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内独自で実施するエコポイント制度を実施 <p>環境に配慮された設備や製品、システムの仕様及び提供をした場合、また地域貢献活動や協力業者への環境教育をした場合、定められたポイントを積み立てる。チーム毎で状況を毎月確認し、年間合計 200 ポイントを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境宣言」を実施、社内外へ広報している ・事務所の ZEB 化（北栄オフィス） ・月 1 回うきうき退社（ノー残業）デーを行い、日ごろから時間を意識した働き方を推進する ・鳥取県の取組「自転車通勤で健康増進チャレンジ」に参加し、自転車通勤者が増加 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコポイント制度の浸透、年間目標の増加（令和 4 年度以降毎年実施） ・ユニフォーム刷新の際は現在のユニフォームは、廃棄せずリサイクルする（令和 6 年） <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコポイントの申請方法の検討（令和 4 年） ・ユニフォームリサイクル業者の選定
--	---	--